



あ め く っ こ だ よ り

天久っ子便り

夏休み号

令和4年7月29日(金)
発行者：校長 宮里 寿子

個人面談、お忙しい中ありがとうございました。

感染状況が大変厳しい中ではありましたが、センターホールでの検温や手指消毒のご協力、面談時にはシールドを活用する等、感染予防を講じて個人面談が無事終了したこと、安堵しております。期間中は校内をまわりながら、面談の様子を見ると、担任と保護者の方の笑い声も多く聞かれ、やはり対面で行うことの大切さを感じました。各担任からは、「学校の様子を伝え、家庭の様子も聞けてとても良かった。」とありました。お忙しい中でのご参加、感謝申し上げます。今回、面談が実施できなかった学級や保護者の方々には、日程について、再度お知らせしたいと思います。GoogleClassroom等でお知らせしますので、その際は、ぜひご確認ください。



校内研修

～道徳、ICT 機器活用、指導と評価(算数)～

夏休みは、我々教職員の教科指導のスキルアップ期間でもあります。今年度は「道徳の授業づくり」「ICT 機器活用」「算数の授業づくり」の研修を実施しました。ご紹介します。



「道徳の授業づくり」講師：運天 弘和 教頭

本校に赴任する前は、那覇教育事務所で4年間、道徳教育の指導主事をしてきた運天教頭。指導主事時代から、「道徳」の講師をとして引っ張りだこでした。道徳の授業は、子ども達の意見や考えに「理由」を述べさせることが大切として、演習も行いました。また、実践例を示しながら、できるだけ具体的にねらいを設定し、教材の持つ特質を生かし、教材の特質が持つ道徳的価値についての理由や根拠に気づかせることが大切とありました。研修後「今からでも道徳の授業をしたい」と感想がありました。



「ICT 機器活用」講師：安谷屋翼教諭・安田龍生教諭・東江征忠教諭

ICT 機器活用の研修でも、本校教諭が講師となりました。安谷屋教諭は電子ホワイトボード「ジャムボード」を活用しての共同学習の仕方、安田教諭は多くのデータ（意見等）から傾向性や法則性を分析するツール「AI テキストマイニング」の活用法、東江教諭は児童の考えを比較したり共有したりできる「ウインボード」の機能紹介を行いました。職員は低・中・高学年の3つに分かれ、ローテーションで3つの研修を受講しました。



「算数の授業づくり」講師：新城 喬之 教諭

天久小学校創立当時のメンバーで、現在、琉球大学教職院大学で算数指導を研究している新城教諭は、算数科指導の実践家として大活躍中です。本校の校内研のテーマである「指導と評価の一体化」について、5年生の単元「面積」を例に、教師の立場として、児童になったつもりで…と、両方の立場で考えていきました。「算数は、答えが出てから楽しくなる」と、答えを最初で知り、安心してから考える方法等、子どもがワクワクする「子ども主体」の授業づくりの研修は、大変勉強になりました。